

(2) 看護学類

看護学

科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
HC10 101	化学	1	1	1	金5 4B211	中村二郎	化学の基礎的な考え方と知識を整理し、専門分野における生化学、栄養学等関連科目理解の基礎とする。	HE10 001と共通**
HC11 101	生物学	1	1	1	共同B 木2 講義室 1	照井直人	生命現象に対する理解を深めるため、分子生物学、発生学、遺伝学、生理学等の基礎を習得し、生命の多様性について学習する。	HE11 001と共通**
HC12 101	物理学	1	1	1	金4 4B204	安岡聖	物理測定、力と運動、仕事とエネルギー、温度と熱、波動現象、電気と磁気、原子物理、原子核物理など基礎的項目に加え、最新の物理学の重要な発展にも触れる事項の教授を行い、物理の基礎的な概念と現代物理の概要を習得させる。	HE12 001と共通**
HC20 001	人間関係論	1	1	2	火5 4B211	徳田克己	人間関係の意義、社会的相互作用、コミュニケーション論など、人間関係に関する基礎理論を学び、さらに、看護における人間関係について理解を深める。	**
HC20 011	カウンセリング論	2	2	3	月3・4 4C看護学 実習室2	宗橋 像 恒 次 本 佐 由 理	対人援助技術のひとつであるカウンセリングの理論、基本姿勢や技法を学ぶ。また、自己洞察と自己成長を通してクライアントの成長を促すプロセスに関する理解と技法習得をめざす。	
HC20 111	臨床心理学	1	2	1	金3 4B211	徳田克己 (非)	乳児期から老年期までの心理的発達過程で、出現しやすい発達課題や問題行動を理解し、さらに臨床心理療法の理論について学ぶ。	HE22 101と共通
HC20 121	行動科学	1	1	2	共同B 金2 講義室 1	市川政雄	行動科学の理論を保健医療の現場に応用することを念頭におきながら学習し、その活用方法を身につける。	**
HC21 101	人体の構造と機能Ⅰ	1	1	1	月6 共同B 講義室 1	志賀 隆 本 三 幸	人体を構成する細胞、組織、器官の構造と機能について学ぶとともに、病気や異常が起こるメカニズムを理解するための基礎知識を得る。「Ⅰ」では細胞の構造、組織の種類、運動器としての骨格系の構造と機能について学ぶ。	看護学類学生に限る
HC21 201	人体の構造と機能Ⅱ	2	1	2	月4・5 共同B 講義室 1	志賀 隆 本 三 幸	「Ⅱ」では運動器としての筋系、神経系、内分泌系、感覚系の構造と機能について学ぶ。	看護学類学生に限る
HC21 301	人体の構造と機能Ⅲ	2	1	3	水3・4 4B211	志賀 隆 本 三 幸	「Ⅲ」では循環系、呼吸器系、消化器系、泌尿生殖器系の構造と機能について学ぶ。	看護学類学生に限る
HC21 021	人体の代謝と栄養	2	1	2	水3・4 4B211	岡村直道 井田 道 松 人 学	生命物質の化学的知識を習得した上で、栄養素(糖質、脂質、蛋白質、ビタミン、ミネラル)の代謝過程(消化・吸収、同化・異化、排泄)を学ぶ。代謝異常にもふれながら、正常な代謝過程を中心に教授する。	看護学類学生に限る
HC21 031	臨床薬理学	1	2	3	水3 共同B 講義室 1	幸田幸直	種々の疾患の治療、予防に用いられる医薬品の基礎的および臨床薬理学的知識、また、それら医薬品の取り扱い方法について学ぶ。さらには看護活動を展開するうえで必要となる人体への薬理作用を中心に考察する能力を身につける。	**
HC21 041	臨床病態学	2	2	1	火4 共同B 講義室 1 月5・6 4B211	水野道代 二宮治 浦山彦 筒井達 (臨床医学系教員)	疾患によって引き起こされる障害を系統的な生体機能障害として捉え、そこに発現する兆候や諸症状の病態生理学を学ぶ。	1学期はHE30 001と共通**
HC21 051	感染と免疫	2	1	3	木1・2 共同B 講義室 1	升佐 秀 伯 夫 由 香	医療現場だけでなく、一般的にも新興再興感染症が広く関心をもちられるなか、感染症を起こす病原微生物はどのようなものであり、どのようにして疾病を起こすのか、そしてどのように取り扱えばいいかについて学習し、医療に携わる者として人の感染と免疫機構を正しく理解する。	**
HC21 061	生体情報論	1	2	1	月3 4B211	山本三幸	生体内で情報がどのように処理されているかを、いくつかの系を例にとりて学ぶ。	**
HC21 102	機能形態学演習	1	2	2	金5・6 4B211 解剖実習室	志賀 隆 山本 三 先 崎 浩 三 幸 次	「人体の機能と構造ⅠとⅡ」で習得した知識を骨格標本、臓器標本などを直接観察することによって、確かなものとし、同時に、科学的観察力を習得する。グループ別に演習課題を解き、人体各部の構造と機能を統合して考察する能力を養う。	看護学類学生に限る
HC21 112	食物・栄養学演習	1	1	3	月4・5 4B211 共同B講義 室 1	林岡 啓 村田 直 松 子 道 学	各臓器の代謝的特徴を理解した上で、食品に含まれる栄養素が生体にどのような影響を及ぼすかを学び、病態に対応した食事療法のあり方を学ぶ。理解を深めるために栄養計算や献立作成などの演習を組み込む。	看護学類学生に限る

看護学

科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
	医療機器概論	1	2				診断・治療の両面で多用されている医療機器および障害とともにある生活を支える福祉機器はどんな機能を補助しているのかを視点にして学習、その用途と操作方法についての知識を習得する。	** 平成21年度開講せず
H C 21 131	遺伝と健康	1	2	3	金5 4B204	有波忠雄 小池秀尚 土屋恵美子	遺伝病の診断や病態、治療の基本を学ぶ、遺伝子診断を受ける事例を提示して、看護の援助方法を学ぶ。	**
H C 22 001	人間環境論	2	1	1	月4・5 共同B 講義室 1	川口孝泰 市升(人間と人間を取りまく環境との関わりについて、とくに健康生活の観点から理論的な背景を概説すると共に、具体的な事例をあげながら、その現状や歴史的な変遷を学ぶ。内容は、大気汚染や騒音、振動などの公害問題や地球環境問題から、衣食住などの日常的な健康生活活動を取りまく生活環境や社会環境に関わる話題を取り上げる。	看護学類学生に限る
H C 22 011	保健統計学	1	1	2	金4 4B211	市川政雄	保健医療の現場や研究で得られるデータを解釈するうえで必要な統計学の基礎知識を身につける。	**
H C 22 021	疫学	1	2	1	金4 4B211	市川政雄	健康問題を集団レベルで捉える手法(記述疫学)と、問題解決の糸口を見出す手法(分析疫学)を事例に基づき学習する。	H E 22 131 と共通 看護学類学生に限る
H C 22 031	保健福祉行政論	2	3	1 2	金1 4B211 火5 4B205	田宮菜奈子 久保一朗 吉岡治代 柏木聖他	人間の生活を支えるためのサービスとしての医療保健福祉行政のしくみについて学ぶ。学習内容としては医療・保健・公衆衛生の考え方、福祉の考え方、諸サービスに関連する法律の設立経緯や意図および内容とサービス提供方法等である。	医療科学類と一部共通
H C 22 041	生活と法	1	1	3	火5 4B211	()	憲法の二大要素である国の統治機構と国民の基本的な権利は、相互に深く関わり合っている。この憲法を基盤としたわが国の法制度と、日常生活に密接に関わる法律について特に医療との関係でその概要を学ぶ。	**
H C 22 051	障害と生活	1	2	1	水3 一部 集中 共同B 講義室 1	田宮菜奈子 河内清彦	先天的または後天的に形態・器質あるいは機能障害を持ちながら社会生活をする上で、生じてくるハンディキャップについてICFに基き具体的理解を深め、個人・家族・地域社会・国・世界における障害の意味とそれを支える制度や方策について学ぶ。	**
	看護の法と責任	1	1				看護活動の基盤となる関連法規について理解する。これらの基礎知識を踏まえた上で、専門職としての責務と責任、患者の権利擁護の視点から医療・看護過誤について判例をもとに検討し、現代医療が抱える問題について理解を深める。	平成21年度開講せず
H C 22 072	環境保健学演習	1	2	2	月3・4 4B211 4B202	川口孝泰 市升(人間の健康生活に関わる物理・化学的環境、生物学的環境および人的・社会的環境のアセスメント方法や評価手法について、演習を通して学び、環境を客観的に捉え判断できる力を養う。	看護学類学生に限る
H C 22 101	医療経済学	1	3	2	木2 4B211	久保一朗 近藤正英	医療サービスの経済学的特殊性およびわが国をはじめ、諸外国の医療制度、医療財源、医療費などの現状と今後の展望について学ぶ。	H E 2 2121 と共通 **
H C 22 111	人間工学	1	1	2	火4 4B211	川口孝泰 ()	人間工学は、人間生活の安全や安楽を追求する学問である。この講義では、人間の日常生活に目を向けて、人間の生活動作や姿勢、ボディメカニクスなどの理解を通じて身近な道具に対する人間工学的な視点を学ぶ。	**
H C 22 121	知的障害者福祉論	1	2・3	2~3	集中 4B211	徳田克己 ()	身体障害者福祉を中心として基本資料及び福祉制度を概説する。また自立生活、家族支援、障害者文化などの話題を紹介しながら近年のサービス利用に関する動向にも触れる。	看護学類学生に限る (隔年開講)
H C 22 131	身体障害者福祉論	1	2・3	2~3	集中 4B211	徳田克己	身体障害者福祉を中心として基本資料及び福祉制度を概説する。また自立生活、家族支援、障害者文化などの話題を紹介しながら近年のサービス利用に関する動向にも触れる。	平成21年度開講せず (隔年開講)
H C 22 141	子ども支援学	1	1	2	集中 4B211	徳田克己 ()	子どもを取り巻く物理的な環境及び社会環境の実態を解説し、子どもが健全な発達をしていくためには何が必要であるのか、また教育、福祉、医療などがどのように連携していけばよいかについて講述する。	
* H C 22 161	家族社会学Ⅰ 〔家族社会学〕	2	1	1	木4・5 1H201	樽川典子	家族は、その発見以来、つねに変化、変動、変容するものとして観察され論じられてきた。この授業では、家族変動の代表的な理論を整理し、主なトピックスをあげつつ、現代の変容について考察する。	社会 (BB11 151) と共通
* H C 22 171	環境社会学概論 〔環境社会学〕	2	2	1	木1 5C404 集中 4B211	松村和則 浦山(環境社会学の方法論、理論(モデル)および実践論について理解することを目的とする。現在、さまざまな環境問題が生じているが、自然環境だけではなく、歴史・文化的環境および都市・産業社会での環境をも対象とする。	1単位は、体育(W85 0201)、HE38 101と共通

看護学

科目番号	授業科目	単 位 数	標準 履修 年次	実施 学期	曜 時 限 教 室	担 当 教 員	授 業 概 要	備 考
H C 30 001	基礎看護学概論	1	1	1	木3 4B211	川 口 孝 泰 佐 伯 由 香 浅 野 美 礼	看護を学ぶ第一歩として、看護の基本概念である「人間」「健康」「環境」「看護」の4概念と、その関係について学ぶと共に、看護の歴史的な変遷や社会における看護の役割や機能についても理解し、自らの看護観を構築していくための手がかりとする。	HE22 111と共通 **
H C 30 011	看護援助論	1	1	2	火3 4B211	佐 伯 由 香 ()	看護実践を支える基本的な理論を学ぶとともに、看護実践を系統的に展開するための思考手段である看護過程について学習する。看護過程ではアセスメント、看護診断、看護目標・計画の立案、そして評価といった過程を、演習をふまえて学習する。	看護学類学生に限る
H C 30 022	生活援助論演習	1	1	3	木4・5 4B看護学 実習室1	川 口 孝 泰 佐 伯 由 香 ()	看護ケアの技術習得に繋がる最初の演習科目として、学生自らの生活体験に基づいた思考創発的な日常生活援助課題を計画・演習し、それらの援助内容を「看護技術を支える態度と行為」の8項目(①知識と判断②実施と評価③対象への説明④安全安楽の確保⑤プライバシーの保護⑥指示確認・報告や記録⑦個別性への対応⑧家族相談と助言)を介して評価しながら、看護ケアとして生活援助のあり方を学ぶ。	看護学類学生に限る
H C 30 031	基本看護技術Ⅰ	1	2	1	木2 4B看護学 実習室1	浅 野 美 礼 ()	看護基本技術の技術要素とその概念を示しながら、あらゆる健康レベルの対象に対して、看護活動の展開に必要なとなる看護援助の基本的な知識・技術・態度を統合していくための理論的・実証的な手段を学ぶ。	看護学類学生に限る
H C 30 042	基本看護技術Ⅱ	2	2	1	木3～6 4B看護学 実習室1	浅 野 美 礼 ()	日常生活援助に関わる基本看護技術である、①環境の整備、②食事の援助、③排泄援助、④活動・休息の援助、⑤清潔衣生活の援助を中心に、その基本的技術(basic skills)を演習によって習得する。また共通技術項目として、スタンダードプリコーション(手洗い、ガウン、ネックなど)、活動(移乗動作、体位変換など)、バイタルサインなどの技術を学ぶ。さらにこれらの技術習得過程において、基本看護技術Ⅰで学んだことに教育的に介入し、実践と研究的態度の有機的統合を果たすための技法をも身につける。	看護学類学生に限る
H C 30 052	フィジカルアセスメント	1	2	2	金3・4 4B看護学 実習室1	佐 伯 由 香 () 浅 野 美 礼 川 口 孝 泰	看護実践を展開する過程における具体的なアセスメント方法を学ぶ。系統的に身体を観察、評価する技法を学習すると共に身体内でのようなことが起こっているのか考察できる能力を身につける。	看護学類学生に限る
H C 30 062	看護介入技術	1	2	3	金3・4 4B看護学 実習室1	佐 伯 由 香 () 浅 野 美 礼 川 口 孝 泰	フィジカルアセスメントの結果を看護ヘルスアセスメントにつなげることで看護独自の介入方法(Nursing Intervention)の選定から適用、さらに実践における看護介入の効果を評価するための技法を身につける。	看護学類学生に限る
H C 30 071	看護生命倫理	1	1	3	木3 共同B 講義室 1	佐 伯 由 香 ()	現代社会では、生命科学や医療の進歩により人間の生存にかかわる多くの問題が生じている。これらの問題は生命科学・医療・法律・倫理・哲学などの多くの側面から検討することが必要である。本講義は、これらの諸問題に関して、看護学の視点から論じ、看護実践の場でどのように活かすか理解を深める。	看護学類学生に限る
H C 30 091	緩和ケア	1	3	1	月3 共同B 講義室 1	水 野 道 代 三 木 明 子 柏 木 聖 代 増 田 元 香	ターミナルケアの理念、終末期の患者と家族の身体的・心理的・社会的反応についての理解を深め、ヒューマニティに基づいたターミナルケアに関する知識・理論について教授し、終末期における看護の役割について学ぶ。	**
H C 30 081	看護と安全管理	1	3	1	金3 4B205	川 口 孝 泰 安 梅 江 子 三 木 明 子 他	施設および地域において、効果的・効率的看護サービスを提供するための看護職の役割について学び、質の高い看護サービスを提供するために必要とされる看護管理の基礎的知識や理論を学ぶ。	**
H C 30 093	基礎看護学実習	2	2	2 3	木1～6 集中	佐 伯 由 香 () 浅 野 美 礼 川 口 孝 泰	学内演習で学んだことを実際の場面で実施・展開することで、知識を机上のものでなく現実のものへと繋げ、技術獲得への導入を図ると同時に、チーム医療における看護の実際とその役割を学ぶ。	看護学類学生に限る
H C 30 101	感染対策看護論	1	2	1	火5 共同B 講義室 1	浅 野 美 礼	地域および施設内における感染の問題とその予防対策について、多面的・科学的に論ずる。さらに感染予防に関わる新しい看護の役割と責任について学ぶ。	**
	地域看護学概論	2	2				地域看護学の理念と目標を理解し、地域で生活する人々への健康支援における地域看護の基本的な概念や特徴を学習する。さらに地域を基盤とした予防活動ならびに地域、学校、職場における看護の果たす役割について理解を深める。	平成21年度開講せず
H C 31 011	家族看護論	1	3	1	水4 共同B 講義室 1	坂 田 由 美 安 梅 勅 江 森 千 江 鶴	家族についての様々な理論を概説し、家族のもっているセルフケア機能をアセスメントすることから、援助する手法を具体的な事例を通し理解する。	**

看護学

科目番号	授業科目	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
H C31 021	在宅看護論	1	2	3	集中 4B211	坂田由美子 岡洋治 吉柏木聖代	地域で生活する健康問題や障害のある人々への看護活動の方法論および在宅看護技術を修得する。また在宅ケアチームの中における看護の役割について理解を深める。	看護学類学生に限る
H C31 022	在宅看護論演習	1	2	3	集中 共同B看護学実習室4 4C看護学実習室2	柏木聖代 坂田由美子 吉岡洋治	地域で生活する健康問題や障害のある人々とその家族を支えるケアシステムにおける訪問看護の特性を理解し、活動に必要な基礎的な知識と技術を学ぶ。	看護学類学生に限る 留年生でQ131021在宅看護論2単位を履修した者は、本科目を履修申請する必要はない
H C31 031	地域保健活動論	2	3	1	木1・2 4B211	坂田由美子 岡洋治 吉柏木聖代	コミュニティ・アセスメントによる地域看護活動の展開、対象別地域看護活動および個人・家族・コミュニティ支援の方法について学ぶ。	看護学類学生に限る
H C31 042	地域保健活動方法論	2	3	2	水2・3・4・5 4C看護学実習室2	岡洋治 吉高田宮木 柏木聖代	地域看護活動の特徴的な方法、地区診断から計画づくり、保健師の家庭訪問・健康教育・健康相談などについて演習を通して学ぶ。	看護学類学生に限る
H C31 051	学校保健活動論	1	3	1	共同B 木6講義室1	高田ゆり子 坂田由美子	学校保健活動の特徴を理解し、小学生・中学生・高校生の対象特性に応じた看護活動のあり方や、学校保健安全計画立案時の看護職の役割、安全教育・保健教育における看護職の役割を学ぶ。	看護学類学生に限る
H C31 061	産業保健活動論	1	3	2	水6 4B211	三木明子 田宮菜奈子 松崎一葉	産業保健学の基礎となる、労働安全衛生・人間工学・社会心理・メンタルヘルス・法規について学習する。さらにマクロな視点から職域の予防医学体制を構築するために看護職の果たす役割について学ぶ。	Q23 8121と共通 看護学類学生に限る
H C31 071	健康教育	1	3	2	火6 4B211	吉岡洋治 高田ゆり子	集団教育についてだけでなく、個別教育を含めセルフケア能力育成するための指導・教育方法について、様々な理論をもとに学ぶ。また媒体の工夫など具体的な教育場面も想定して援助する方法論について理解を深める。	看護学類学生に限る
H C31 073	在宅看護論実習	1	2	3	集中	柏木聖代 坂田ゆり子 高田宮木 田安菜奈子 吉岡勅江 安吉洋治	地域で生活する健康問題や障害のある人々とその家族の特徴を理解するとともに、訪問看護活動の現場において訪問看護の意義・役割を理解し、看護の実践を学ぶ。	看護学類学生に限る 2学期の「基礎看護実習」を履修済みであること
	看護ふれあい実習	2	1				看護活動が行われている様々な場面で対象の特徴を理解するとともに、援助活動の実際を体験し、看護学についての学習意欲の増進を図る。	平成21年度開講せず
H C31 101	学校保健	1	2	3	集中 4B204	田宮菜奈子 竹島一則 福島敬 植田誠治 平野千秋	今日の子どもの健康実態を明らかにしつつ、学校保健がそれらにどう取り組むべきか、その考え方や活動の進め方について学習する。	看護学類学生かつ養護教諭選択履修生に限る
H C31 131	養護概説	2	3	1	木3・4 4B205	高田ゆり子	学校における養護教諭の歴史、養護教諭の役割を知り、児童生徒の健全な成長発達を援助する能力を養う。	養護教諭選択履修生に限る
	成人看護学概論	1	2				ライフサイクルにおける成人期の位置づけ、ならびに成人期にある人々の身体的・心理的・社会的特徴から、健康の概念を学ぶ。さらに健康問題の解決や健康増進における看護の役割と責任について理解を深める。	平成21年度開講せず
H C32 011	健康障害看護学Ⅰ	2	2	2	水3・4 共同B講義室1	水野道代 林日高 柴山(啓久江賀)	成人期の人々をモデルとして、健康現象が生活環境と相互に影響しあいながら、さまざまな人間の反応を引き起こすことを学び、それらの反応を理解し援助するために必要な基礎的理論および、その方法について学習する。成人期において健康障害がある人間の反応と、そのアセスメントの仕方およびケア方法を学習する。	看護学類学生に限る
H C32 022	健康障害看護学Ⅱ	2	2	2	火3~6 共同B講義室1	林野啓子 水日高(啓久江賀) 柴山(大賀)	成人期における健康障害によって生ずる人間の反応についてアセスメントし、疾病の経過とそれに伴う心理的・社会的側面に考察を加え、人間の総合理解に基づいた看護過程を展開する能力を養う。 健康障害の発生や再発予防のための看護活動、ならびに病いと共に生活する人々、リハビリテーション過程にある人々のQOL向上のためにセルフケア能力を高める援助方法について、具体的事例の展開を通して学ぶ。	看護学類学生に限る
H C32 043	急性期看護学実習	2	3	3	集中	日高山紀久江 柴林(大賀子)	外科的療法を受ける成人期にある対象を総合的に理解し、術前から術後の健康回復過程にそった看護を展開、実践する能力を習得する。	看護学類学生に限る

看護学

科目番号	授業科目	単 位 数	標準 履修 年次	実施 学期	曜 時 限 教 室	担 当 教 員	授 業 概 要	備 考
HC32 112	急性期看護論	1	3	2	金1・2 4B211	日高山紀久江 柴山 大賀子 林 ()	手術を受ける患者の術前から術後にかけての一連の回復促進に向けての看護と、生命の危機に直面している患者の身体・精神・社会的な問題に対する看護について学習する。	看護学類学生に限る
HC33 001	精神看護学概論	1	2	1	水5 4B211	森 千 鶴	精神看護の基礎となる理論を学ぶとともに精神看護の目的及び看護の役割について学ぶ。	**
HC33 012	精神看護方法論Ⅰ	1	3	1	月1・2 4B211	三木明子 森 () () () 佐々木 恵 美	精神の健康問題を抱えている対象、あるいは治療を必要としている対象に対する諸制度、治療と看護アプローチを学ぶ。	看護学類学生に限る
HC33 022	精神看護方法論Ⅱ	1	3	2	金3・4 4C看護学 実習室2	() 三木明子 森 ()	精神の健康問題を抱え入院治療を必要としている対象に対して、諸理論に基づき、臨床場面において具体的な看護アプローチを学ぶ。	看護学類学生に限る
HC33 023	精神看護学実習	2	3	3	集中	三木明子 森 ()	精神に障害をもった人に接し、個人の背景や特徴を踏まえた看護過程を展開しながら、臨床場面での精神看護技術を習得する。対象者を理解し、対象者に必要な看護を考え、精神科看護における看護の役割を理解する。	看護学類学生に限る
HC33 101	リエゾン精神看護	1	3	1	月4 4B205	三木明子	様々な状況にある患者の精神状態の把握とアプローチ法に関する基礎的な知識を学ぶ。また、精神的問題を抱えた患者をケアする看護師へのメンタルヘルズ活動など、リエゾナーズの幅広い役割・機能を理解する。	看護学類学生に限る
HC33 111	精神看護技術論	1	3	2	金5 4B205	森三木 ()	精神障害者の社会復帰のための看護の役割、基本的理論、具体的方法論、さらに地域での生活を支える方法の実践を学ぶ。	看護学類学生に限る
HC34 001	高齢者看護学概論	1	1	3	火3 4B211	松田ひとみ 爪 祐美 増 田 元 香 田 香 隆 野 譜 也 渡 重 行	日本の高齢者の加齢に伴う心身機能への影響や社会的な特徴を理解した上で、人権の尊重を基盤にヘルスプロモーションとQOLの向上を意図した看護活動上の課題と役割を学ぶ。	**
HC34 011	加齢と健康	1	2	2	集中 4B211	増朝久渡 田野辺	加齢から引き起こされる特有の疾病・病態および健康障害について理解し、高齢者特有の日常生活機能をアセスメントする能力と保健活動の視点を養う。	看護学類学生に限る
HC34 022	高齢者看護方法	2	3	2	月1・2 4B211 月3・4 4C看護学実 習室2	松田ひとみ 爪 祐美 増 田 元 香	健康障害をもった高齢者の看護過程について学ぶ。特に高齢者の日常生活生活支援（体位変換、入浴・排泄・食事介助等）について科学的根拠に基づいたアセスメント、援助技術、さらに実施後の評価に至る過程を学ぶ。	看護学類学生に限る
HC34 101	高齢者 アクティビティケア	1	3	2	集中 4C看護学 実習室2	爪田祐美 増松田 松田ひとみ (註)	高齢者の自然治癒力および残存能力の維持と向上のために、高齢者関連施設における芸術療法等のアクティビティ・ケアについて学ぶ。	集中講義の為看護学類学生に限る
HC34 111	高齢者の看護と ケアマネジメント	1	3	2	火4 4C看護学 実習室2	増松田 爪 祐美	高齢者の理解を深める知識と方法を学ぶ。	看護学類学生に限る
HC35 001	母性看護学概論	1	2	1	水4 4B211	江守陽子	母性看護の基礎となる概念について理解する。特に母性看護の役割と対象の特徴を理解し、さらにリプロダクティブ・ヘルス/ライツの意義について学ぶ。	**
HC35 012	周産期看護方法論	2	3	1	水1・2 4B211他 火3・4 4B211他	村井文江 江守陽子 阿部正子 () ()	妊娠、分娩、産褥、新生児各期にある対象看護の視点から理解し、看護を展開していくために必要な知識・技術を学習する。	看護学類学生に限る
HC35 021	親と子への健康支援	1	3	1	火5 4B211	江守陽子 ()	親と子が置かれている状況について理解し、健康支援の方法について具体例を通して学ぶ。	看護学類学生に限る
HC35 033	母性看護学実習	2	3	3	集中	江村井文江 () 阿部正子 ()	臨床の場において、看護過程を用い母性看護の対象に看護を展開する能力を養う。	看護学類学生に限る

看護学

科目番号	授業科目	単 位 数	標準 履修 年次	実施 学期	曜 時 限 教 室	担 当 教 員	授 業 概 要	備 考
H C35 101	女 性 と 健 康	1	3	1	水5 共同B 講義室 1	村 井 文 江 阿 部 正 子 東 野 英 利 吉 川 裕 弥 宮 園 弥 生	女性特有の健康障害と医療について理解する。加えて、これらの医療現場における支援について考える。	**
H C35 111	女 性 保 健 ・ 看 護	1	3	1	木5 4B211	村 井 文 江 江 守 陽 子	女性のライフサイクルを通じての看護の役割について理解する。女性のライフサイクル各期に生じやすい健康問題・課題を理解し、看護していくために必要な基礎的知識・技術を学ぶ。	**
H C35 121	助 産 学 概 論	1	3	1	木4 4B204	江 守 陽 子	助産（師）の役割について理解する。助産学の範囲と対象、対象の健康問題、援助法を理解するとともに助産に必要な基礎的概念を学ぶ。	看護学類学生に限る
H C35 131	助 産 診 断 論	3	3	2	木3・4・5 4B205	江 守 陽 子 村 井 文 江 （ 阿 部 正 子 ） （ 吉 川 裕 弥 ） 宮 園 弥 生	助産学に必要な理論を理解するとともに、妊婦、産婦、褥婦、新生児のアセスメントおよび診断に必要な知識・技術を学習する。	助産師課程選択履修生に限る
H C36 001	小 児 看 護 学 概 論	1	2	1	火3 共同B 講義室 1	古 谷 佳 由 理	国内外の“子ども”観、児童観の歴史の変遷を含む小児看護の理念を学ぶ。さらに小児の成長・発達と健康増進のために家族を含めた子どもへの看護を展開するための基本的概念を学ぶ。	**
H C36 011	子 ども の 健 康 と 障 害	1	2	2	水6 共同B 講義室 1	古 谷 佳 由 理 小 池 秀 子 涌 水 理 恵 （臨床医学系教員）	子どもの健康な状態・それに関連する要因を理解することを基盤として、子どもの健康が障害された状態、それによって生起する問題点などを特有な疾患を持つ小児を例に理解する。	**
H C36 022	小 児 看 護 学 演 習	2	3	1・2	火1・2 4B211 4B看護 実習室3	古 谷 佳 由 理 小 池 秀 子 涌 水 理 恵	様々な健康障害をもつ子どもとその家族に対して、その看護上ニーズをアセスメントし、総合的に看護ケア計画立案、実践、評価できることを目的として、基礎的知識と技術を演習を通して学ぶ。	看護学類学生に限る
H C36 033	小 児 看 護 学 実 習	2	3	3	集中	古 谷 佳 由 理 小 池 秀 子 涌 水 理 恵	小児看護学の講義・演習で学んだ知識や技術を統合・活用し、臨床場面において疾病や障害によって引き起こされた健康障害をもつ子どもとその家族に対する看護を実習する。	看護学類学生に限る
H C36 101	子 ども の 生 活 と 看 護	1	3	1	月6 4B看護 実習室3	古 谷 佳 由 理 小 池 秀 子	小児期の成長・発達（学習）に必要な不可欠な活動としての“遊び”をその理論的基盤も含めて学習し、小児看護場面における位置付けを明確にし、子どもと家族の発達援助に活用する能力を養う。	看護学類学生に限る
H C36 111	現 代 社 会 の 子 ども	1	3	1	月5 4B看護 実習室3	古 谷 佳 由 理 小 池 秀 子	子どもの発達段階・行動の持つ意味や方向性を、発達心理学や行動科学といった関連分野の知見を踏まえながら理解し、対象となる子どもを全人的・統合的に捉えることを学ぶ。	看護学類学生に限る
H C38 001	研 究 方 法 概 論	1	3	1	集中 4B205	川 口 孝 泰	看護学的視点から研究についての概説と研究の手法、学術論文の構成、評価および倫理的な進め方について学ぶ。	看護学類学生に限る
H C38 121	国 際 保 健 活 動 論	1	3	2	木1 4B211	我 妻 仲 子 近 藤 正 英	国際保健活動を行う場合に多く用いられるプロジェクト・サイクル・マネージメント（PCM）手法を学ぶとともに、文化的背景が違う国で医療や保健活動を行うための方法について理解を深める。	HE33 111と共通 看護学類学生に限る
H C38 131	看 護 科 学 と 社 会	1	2	3	火5 4B204	徳 田 克 己 伯 由 香 三 木 明 子 増 田 元 香 吉 村 洋 治 村 岡 井 文 （ 園 弥 生 ）	看護科学が社会の中でどのような役割を担っているのか、この学問を学び、分野に応じた専門性を身につけることで、どのような社会貢献ができるようになるのかについて理解を深める。	** GDP（学問と社会）

備考欄：**印は他学群学生の受講可、人数制限あり

（注）「学問と社会」とは専門教育を通して、キャリア形成を考えるのに役に立つ内容を含んでいるものです。